

事務事業名		大船渡駅前広場管理運営事業			☐ 実施計画登載事業		☐ 合併建設計画登載事業			
政策体系	政策名	05 豊かな市民生活を実現する産業の振興			事業期間		予算科目			
	施策名	21 活気あふれる商業の振興					会計	款	項	目
	基本事業名	01 元気な商店街づくり			☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始 平成14 年度～) ☐ 期間限定複数年度 (計画期間) 年度～年度 全体計画欄の総投入量を記入		01	07	01	02
根拠法令		大船渡駅前交流広場設置管理に関する条例、同条例施行規則								
所属	部課名	商工観光部商工観光物産課								
	係名	商工係	電話	0192-27-3111						
			内線	113						
事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) 当市の中心市街地であるJR大船渡駅前に交流広場を設置し、イベント等の開催場所を提供することによって商店街に賑わいを創出する。 〔広場の概要〕 所在地 大船渡市大船渡町字茶屋前42番地11 面積 1,048.49平方メートル 東屋1棟、水飲み場1箇所、照明灯3基、ベンチ5台、駐車場(11台分) 業務内容 広場の維持管理業務の委託、毎月報告書を提出してもらう、年間の計画書を提出してもらう 指定管理料の支払い、広場内の設置物破損の修理依頼 事業費は管理委託料及び広場設置物修繕費					全体計画 (期間限定複数年度のみ) 総投入量 (千円) 事業費 財源内訳 国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計 (A) 0 人件費 正規職員従事人数 延べ業務時間 人件費計 (B) 0 トータルコスト(A) + (B) 0					

1 現状把握の部 (DO)

(1) 事務事業の目的と指標		
手段 (主な活動) 前年度実績 (前年度に行った主な活動) ・駅前広場の管理委託を実施する。 指定管理者制度の導入により、清掃等の委託業務のみでなく、商行為による申請の受理、許可不許可の決定等も委託する。 今年度計画 (今年度計画している主な活動) ・前年度に同じ。 対象 (誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 ・大船渡駅周辺事業所、一般市民 ・大船渡駅前交流広場 意図 (この事業によって、対象をどう変えるのか) ・商店街活性化のためのイベント等開催場所が提供される。 ・適正に管理され、市民に快適な広場が提供される。 結果 (基本事業の意図: 上位の基本事業にどのように貢献するのか) 商店街が賑わっている。		活動指標 (事務事業の活動量を表す指標) 名称 単位 ア 駅前交流広場使用申請受理数 件 イ 駅前交流広場使用許可数 件 ウ 対象指標 (対象の大きさを表す指標) 名称 単位 カ 大船渡大通り商店街振興組合員数 事業所 キ 広場利用申請者数 人 ク 広場面積 m ² 成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標) 名称 単位 サ 駅前交流広場でのイベント等実施回数 回 シ 広場利用者数 人 ス

(2) 総事業費・指標等の推移										
		単位	年度	17年度 (実績)	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (実績)	
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円						
			都道府県支出金	千円						
			地方債	千円						
			その他	千円						
			一般財源	千円	410	432	432	432	432	432
	人件費	事業費計 (A)		千円	410	432	432	432	432	432
			正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1
			延べ業務時間	時間	100	100	100	100	100	100
			人件費計 (B)	千円	400	400	400	400	400	400
			トータルコスト(A) + (B)	千円	810	832	832	832	832	832
活動指標	ア	件		1	2	1	1	1	2	
		件		1	2	1	1	1	2	
対象指標	カ	事業所		50	47	53	56	56	62	
		人		1	2	1	1	1	2	
		m ²		1,048	1,048	1,048	1,048	1,048	1,048	
成果指標	サ	回		1	2	1	1	1	2	
		人		1	2	1	1	1	2	

事務事業ID	0410	事務事業名	大船渡駅前広場管理運営事業
--------	------	-------	---------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？

市民の憩いの場となる交流広場を提供することで、商店街に賑わいを創出する必要があったため、平成14年度に大船渡駅前交流広場を設置した。

事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？

・指定管理者制度の導入で平成18年度より、大船渡大通り商店街振興組合に委託を実施している。これに伴い使用申請の受付・許可等も当組合で実施している。平成21年度から、引き続き指定管理者として同組合に5年間委託している。

この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？

特になし。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 結びついている [理由] この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？ 市民の交流の場を提供することや、商店街関係のイベント場所を提供することは商店街の賑わいを創出することになり、商業振興に繋がる。
	公共関与の妥当性	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 妥当である [理由] なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？ 当該施設をなくすことは、商店街振興と逆行することとなる。
	対象・意図の妥当性	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 適切である [理由] 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ 通常は商店街を利用する市民のための駐車場兼憩いの場として、イベントの際は駐車場スペースを含めイベント会場として利用される施設であり適切である。
有効性 評価	成果の向上余地	☒ 向上余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☐ 向上余地がない [理由] 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？ 18年度より、指定管理者制度による民間への業務委託が行われており、民間ならではの運営により、広場の有効活用がなされる余地がある。
	廃止・休止の成果への影響	☐ 影響無 [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 影響有 [その内容] 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ 当該施設をなくすことは、商店街振興と逆行することとなる。
	類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある (具体的な手段, 事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☐ 統廃合・連携ができない [理由] 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？ 類似する事業がない。
効率性 評価	事業費の削減余地	☐ 削減余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない [理由] 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 事業費を削減して取組むことは現状では難しい。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	☐ 削減余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない [理由] やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど) すでに指定管理者制度により民間への業務委託を行っており、事務量が削減されている。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 公平・公正である [理由] 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ 市民全般を対象としているため。

事務事業ID	0410	事務事業名	大船渡駅前広場管理運営事業
--------	------	-------	---------------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること) <table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr> <tr> <td>有効性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr> <tr> <td>効率性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr> <tr> <td>公平性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr> </table>		目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	(2) 全体総括(振り返り、反省点) 指定管理者に対し指定管理料を支払う。前年度の報告書と次年度の計画書を提出してもらった。									
目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☒ 現状維持 事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 指定管理者制度の導入により、大船渡大通り商店街振興組合へ管理業務が委託されたことで民間のノウハウを生かし、継続して商店街の活性化に繋げる。		(4) 改革・改善による期待成果 左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト</th></tr> <tr> <th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th><th>向上</th><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <th>維持</th><td></td><td>●</td><td>×</td></tr> <tr> <th>低下</th><td></td><td>×</td><td>×</td></tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		●	×																			
	低下		×	×																			
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 																							

(職 名) 原則として施策の主管課長

4 事務事業の2次評価結果

2次評価者 商工観光物産課長

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択) ☐ 記述不足でわかりにくい ☐ 一部記述不足のところがある ☒ 記述は十分なされている 評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択) ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない) ☐ 一部に客観性を欠いたところがある ☒ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)		(2) 2次評価者としての評価結果 <table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr> <tr> <td>有効性</td><td>☐ 適切</td><td>☒ 見直し余地あり</td></tr> <tr> <td>効率性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr> <tr> <td>公平性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr> </table>		目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	(3) 評価結果の根拠と理由 事業の意図等を的確に把握しており、適切な評価となっている。								
目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																						
有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり																						
効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																						
公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																						
(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☐ 現状維持 事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 広場が有効活用されるよう、指定管理者に働きかけを行なう。		(5) 改革・改善による期待成果 左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト</th></tr> <tr> <th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th><th>向上</th><td></td><td>●</td><td></td></tr> <tr> <th>維持</th><td></td><td>○</td><td>×</td></tr> <tr> <th>低下</th><td></td><td>×</td><td>×</td></tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上		●		維持		○	×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		●																					
	維持		○	×																				
	低下		×	×																				

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項
